

令和5年度 チャレンジ「家庭ごみ15%減量化作戦」

～私の一日のごみ減量行動～

みんなで取り組みましょう

実施期間：令和5年12月1日から12月31日



◎なぜごみを減らす必要があるのでしょうか？

○ごみ処理には費用がかかります

愛荘町のごみ処理にかかる費用
令和4年度実績 約3億7,700万円



年間1人あたりのごみ処理費用
約17,600円

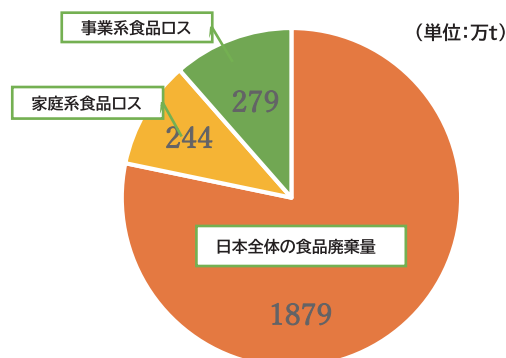
ごみの量を減らすことで**経費の削減**に繋がります！

また、資源をリサイクルし、ごみの量を減らすことで、**環境負荷の低減**や**CO₂の削減**など、地球環境保全につながります！

◎食品ロスの現状

「本来食べられるのに廃棄される食品」を**食品ロス**と呼んでいます。

例えば・・・ 賞味期限の切れた加工食品
形が崩れた規格外の加工食品
各ご家庭や飲食店での食べ残し等



国内の食品ロス量

令和5年6月農林水産省発表によると

【事業系】が約279万トン

【家庭系】が約244万トンであり、全体の食品ロスは約523万トンとされています。

なんと…この数字は、10kgのお米にすると5億2千3百万袋に相当します。

加えて、すべての処理費用は年間約2兆円もかかっています。

1. 家庭ごみ15%減量化作戦とは・・・

令和4年度に引続き令和5年度も「家庭ごみ15%減量化作戦」を実施します。住民の皆さまにはご協力のほどお願い申し上げます。

皆さまが出された家庭ごみについては、リバースセンターで処理していますが、処理場を一日でも長く利用するには、ごみを減らすことが大切です。ごみが減れば処理費用を削減することができます。

資源を有効に活用し、ものを大切に使い環境に負荷をかけない生活をする事で、私たちの地球環境を守っていかねばなりません。

当町では、令和4年3月に「彦根愛知犬上地域 一般廃棄物処理基本計画」を策定し、令和13年度のごみの搬出量を令和元年度のごみの搬出量に比べて15%削減することを目標としています。

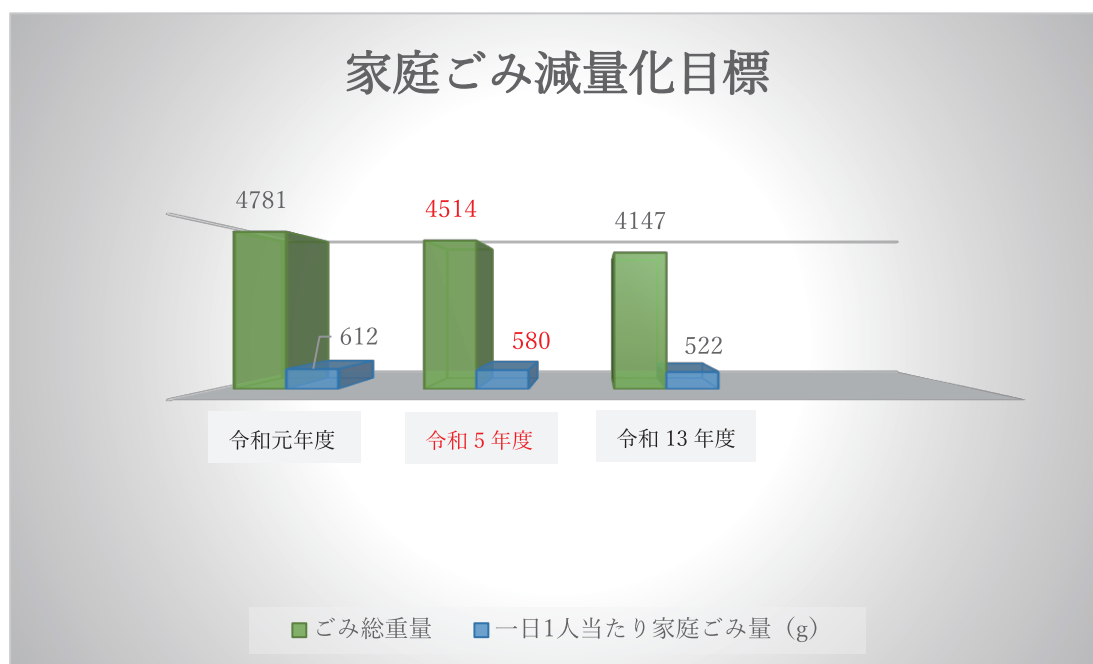
令和元年度のごみ総重量 4,781 t、一日1人当たり家庭ごみ量 612 g

(将来目標)

令和13年度のごみ総重量 4,147 t、一日1人当たり家庭ごみ量 522 g

(今年度の目標)

令和5年度は、ごみ総重量 4,514 t、一日1人当たり家庭ごみ量 580 g を目指します。



2. 4つの取組み

作戦① 生ごみの水切りの徹底

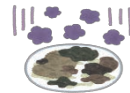
生ごみの40%は水分と言われており、減量の第一歩は、「水切りの徹底」が有効です。

どのような効果があるのか・・・

●ごみの減量化



●悪臭やカビの発生抑制



●ごみ収集車の燃料向上



●リバースセンターの負担軽減 等



<参考例 1>

茶殻を絞った場合



水を含んだ状態(246g)



ぎゅっと絞る



絞った状態(123g)

約半量に軽減できました！

<参考例 2>

※くらし安全環境課で実施した実証実験では、生ごみをカラカラに乾燥させると、約85%も軽くなりました。



194g



30g

<参考例 3>

※ 生ごみの水分をひとしぼりすることで、仮に1世帯1日50gの減量ができただ場合、愛荘町全体で1年間、105tの減量に繋がります！！

作戦② 食品ロスの削減

食品ロスとは、まだ食べられるのに廃棄される食品のことで、日本の食品ロスは、年間523万tも発生しています。

毎日10tトラック約1,430台分相当になります。
そのうち、各家庭からの分は約半分。(約244万t)
一人ひとりが、食品ロスに向き合い、各家庭で出来ることを実践しましょう。



~~例えば~~

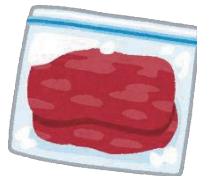
<<買い物時の工夫（まとめ買いはやめましょう）>>



買いすぎはダメ!



<<調理・食事時の工夫（冷凍ストックを活用しましょう）>>

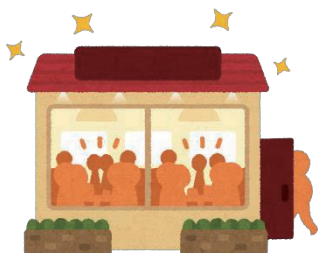


<<外出時の工夫（あまったものは持ち帰りましょう）>>



<<宴会での工夫（3010運動の実施しましょう）>>

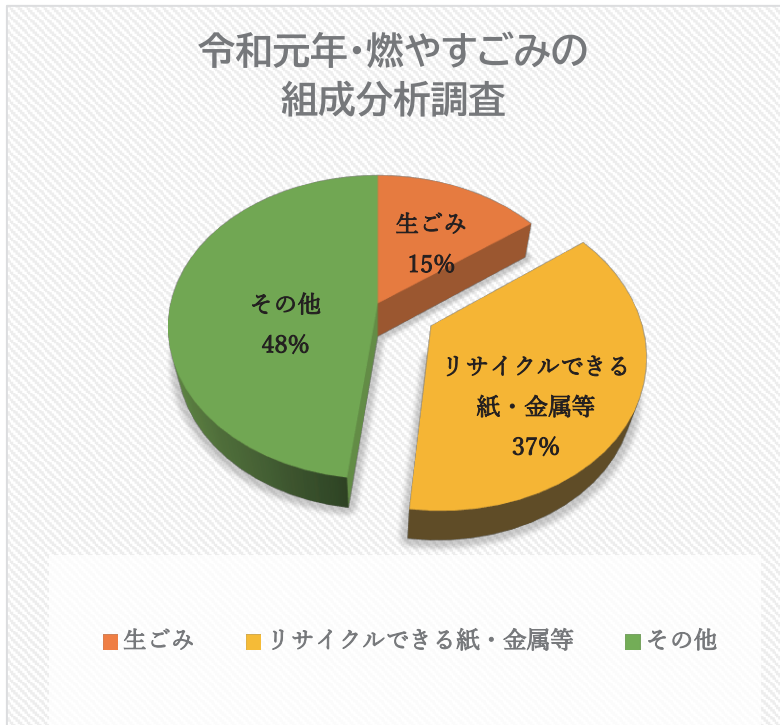
※3010運動とは、最初の30分、残り10分はしっかり残さず食べる運動のこと



作戦③ 分別の徹底

資源物は徹底して分別し、ごみに混ぜないように工夫しましょう。

資源物とは・・・缶類、ビン類、ペットボトル、容器包装プラスチック、新聞紙、雑誌、紙パック、段ボール、**雑がみ（別紙）**



特に、燃やすごみの成分からリサイクルできる紙類、燃えないごみの成分からリサイクルできる金属等が合わせて約37%あり、重量に換算すると約1,130tも資源が処理されています。

『雑がみ』は大切な資源です！！

<燃えるごみ>で出していないですか？？

愛荘エコステーションまたは、資源ごみ等の回収で、新聞・雑誌類等と一緒にお願いします。（別紙資料を参考にご覧ください）

『雑がみ』とは・・・新聞紙・雑誌・段ボール以外のリサイクルできる紙類のことです。

※雑がみを入れる袋や箱を用意して、ごみ箱の隣などに置いておき、日頃から雑がみをためる習慣をつけましょう。

作戦④ たい肥化の徹底

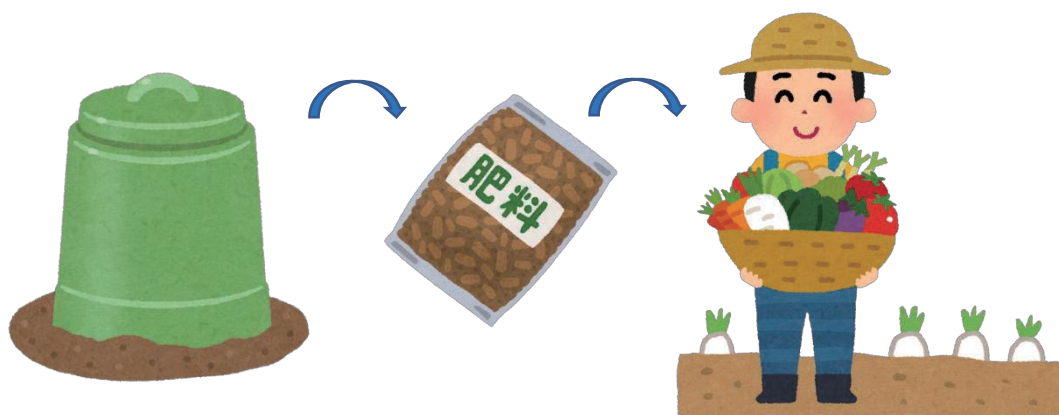
可燃ごみの約40%は「生ごみ」であることから、この「生ごみ」を資源化することで、大幅なごみの減量化に繋がります。

愛荘町家庭用生ごみ処理容器設置補助金交付要綱に基づく、処理機および処理容器購入補助制度を活用しましょう。

(問い合わせ先 役場くらし安全環境課窓口 0749-42-7699)

◎愛荘町家庭用生ごみ処理容器設置補助金交付要綱

処理機補助	上限	30,000円	(補助率50%)
コンポスト補助 (処理容器)	上限	2,000円	(補助率50%)



たい肥化とは…植物や樹木、生ごみなどを含む食品の残渣(ざんさ)のほか、家畜排せつ物などの有機物を微生物により発酵等の反応を経て完全に分解した産物で、その分解過程をたい肥化といいます。

【生ごみ処理機の種類 (参考例)】

種類	使用方法と特徴	定価 (カタログ値)	維持費	設置
バイオ式	機械の中におがくず状のチップが入っており、微生物が生ごみを水と炭酸ガスに分解します。 生ごみを入れてふたをするだけです。	40,000円～80,000円 メーカー、機種により異なります。	電気代(1ヶ月) 約500円 補充用のチップ代が必要。	屋内
乾燥型	生ごみを熱風により乾燥処理します。約1/7に減容します。 乾燥したごみは、土に埋めるか、燃えるごみに出します。	40,000円～80,000円 メーカー、機種により異なります。	電気代(1ヶ月) 約600円～1,000円	屋内
コンポスト型	土の中の微生物により、生ごみを分解して、たい肥化します。季節によって異なるが、約3～6ヶ月でたい肥化します。	3,000円～6,000円 メーカー、機種により異なります。		土のある場所
密閉バケツ型	生ごみにEMボカシ(発酵資材)を振りかけ、密閉したバケツの中で生ごみが発酵し、たい肥化します。	2,000円～4,000円 メーカー、機種により異なります。	EMボカシが必要。	屋内

雑紙(ざつがみ)は資源です！

＜燃えるごみ＞で出していないですか？



ティッシュペーパーの箱



お菓子の箱



包装紙・紙袋



はがき・名刺・封筒



トイレトペーパーの芯

金具は取る



ラップの箱と芯



メモ用紙

ビニール・金具は取る



カレンダー

紙袋に入れて、十文字にしほり愛荘エコステーション
または、資源ごみ等の回収日に出してください。

資源ごみ等の回収

愛知川幼稚園駐車場	秦荘庁舎東側駐車場
① 令和5年12月2日(土)	② 令和6年3月2日(土)
いずれも午前8時30分から午前11時00分まで	

※裏面に皆さまからのご意見を
お願いしています。
各ご家庭での取組を記入して
いただくと幸いです。

混ぜないで！（紙の原料になりません）

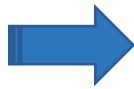
- ・圧着はがき・カーボン紙・写真・シュレッダー紙くず
- ・においのついた紙(洗剤・線香の箱など)・ファックス用紙
- ・防水加工した紙(紙コップ・紙皿・ヨーグルトの容器など)
- ・目かくしはがき・レシート・汚れた紙(水や油など)

【別途参考例】～庭で刈った草の場合

※ 3日間放置した結果、約63%減量できました。

刈り草 350g【乾燥前】⇒132g【乾燥後】 -218g

※3日間乾燥させた結果



う～ん…生ごみを
減らす方法か～
なにか、いい方法が
ないかな？



そうだ！
こんなふうにした
ら、生ごみの水切
りができるかも…

ごみを減らすためのご家庭での独自の
アイデアをお聞かせください。

よろしくお願ひします



○皆様からのご意見

※ご家庭での減量化に向けた取組や行政へ
要望などご意見をお待ちしております。

メールやFAXでも結構です

投函BOXを下記のとおり設置します。

秦荘庁舎1階 秦荘サービス室

愛知川庁舎2階 暮らし安全環境課

《12/1(金)～1/19(金)》

インターネットからの回答はこちら



住所
氏名

問い合わせ

暮らし安全環境課 生活環境係

[愛荘町役場 愛知川庁舎 2階]

電話 0749-42-7699

FAX 0749-42-7377

E-mail kurashi@town.aisho.lg.jp